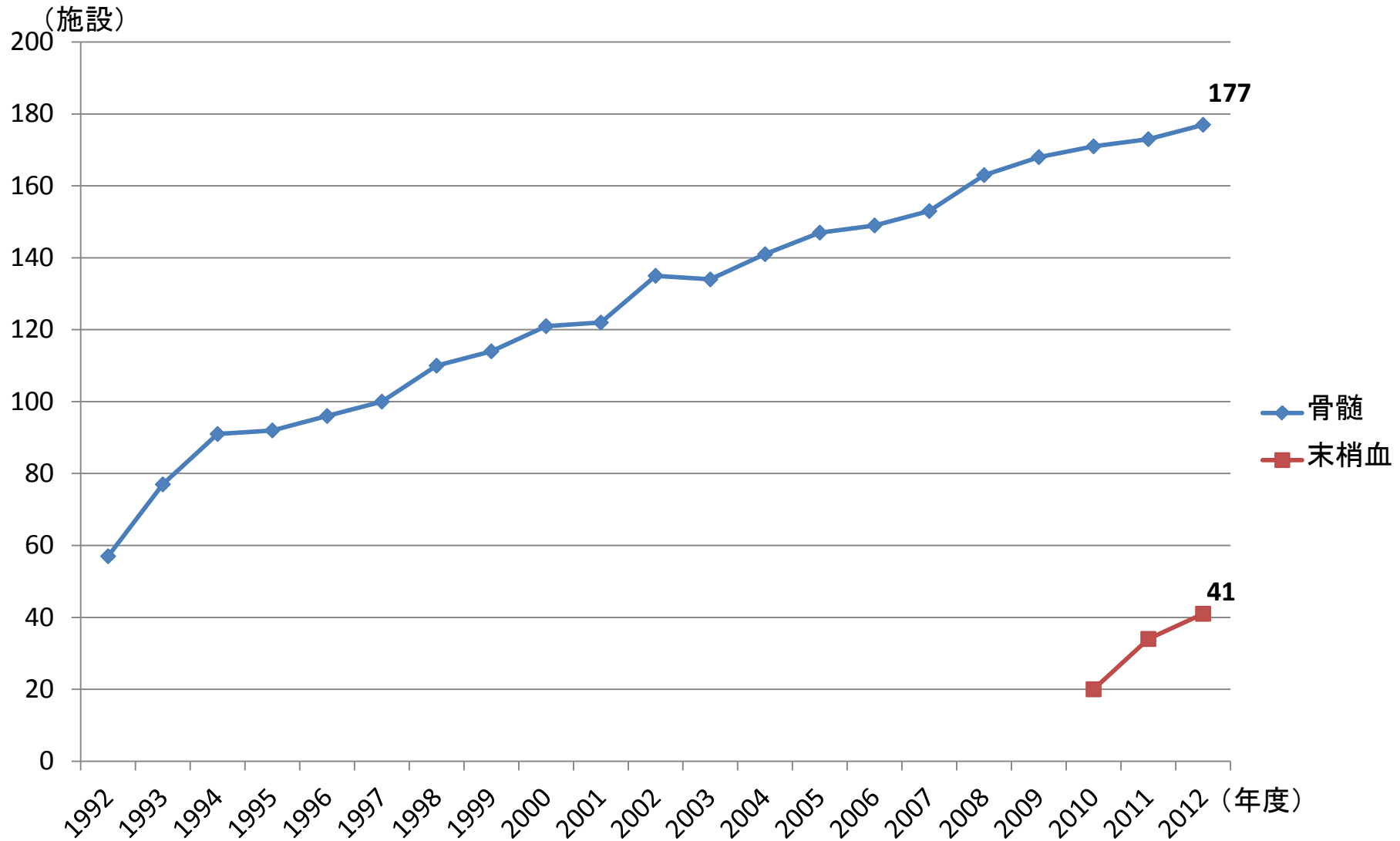


非血縁者間造血幹細胞移植体制について

非血縁者間骨髄採取認定施設数の推移

骨髄採取施設は年々増加している。末梢血幹細胞採取施設は増加傾向だがまだ少ない。

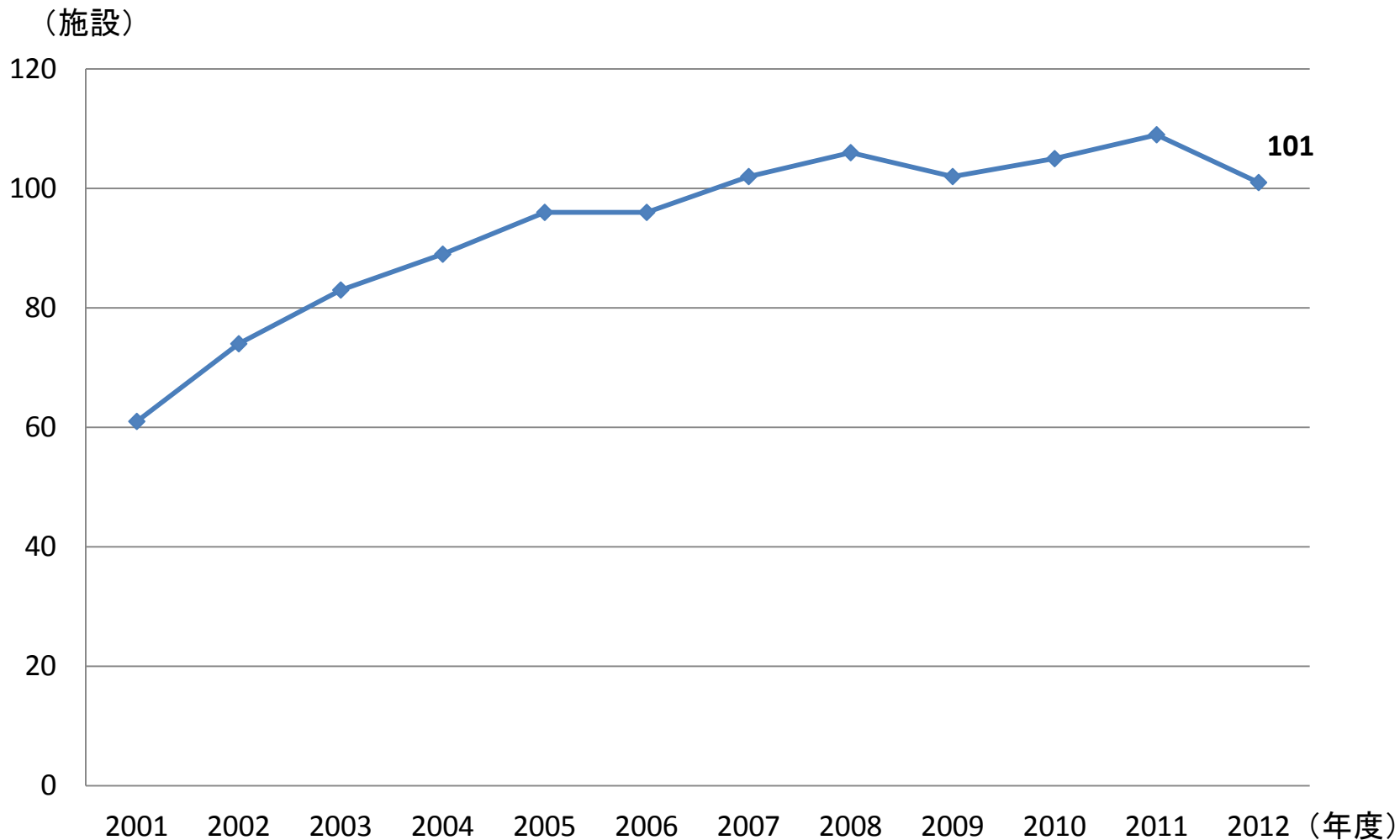


※ 2012年度は2012年12月17日現在

※ 骨髄移植推進財団のデータより臓器移植対策室にて作成

臍帯血採取認定施設数の推移

臍帯血採取施設数は、13都道府県に101施設となっている。

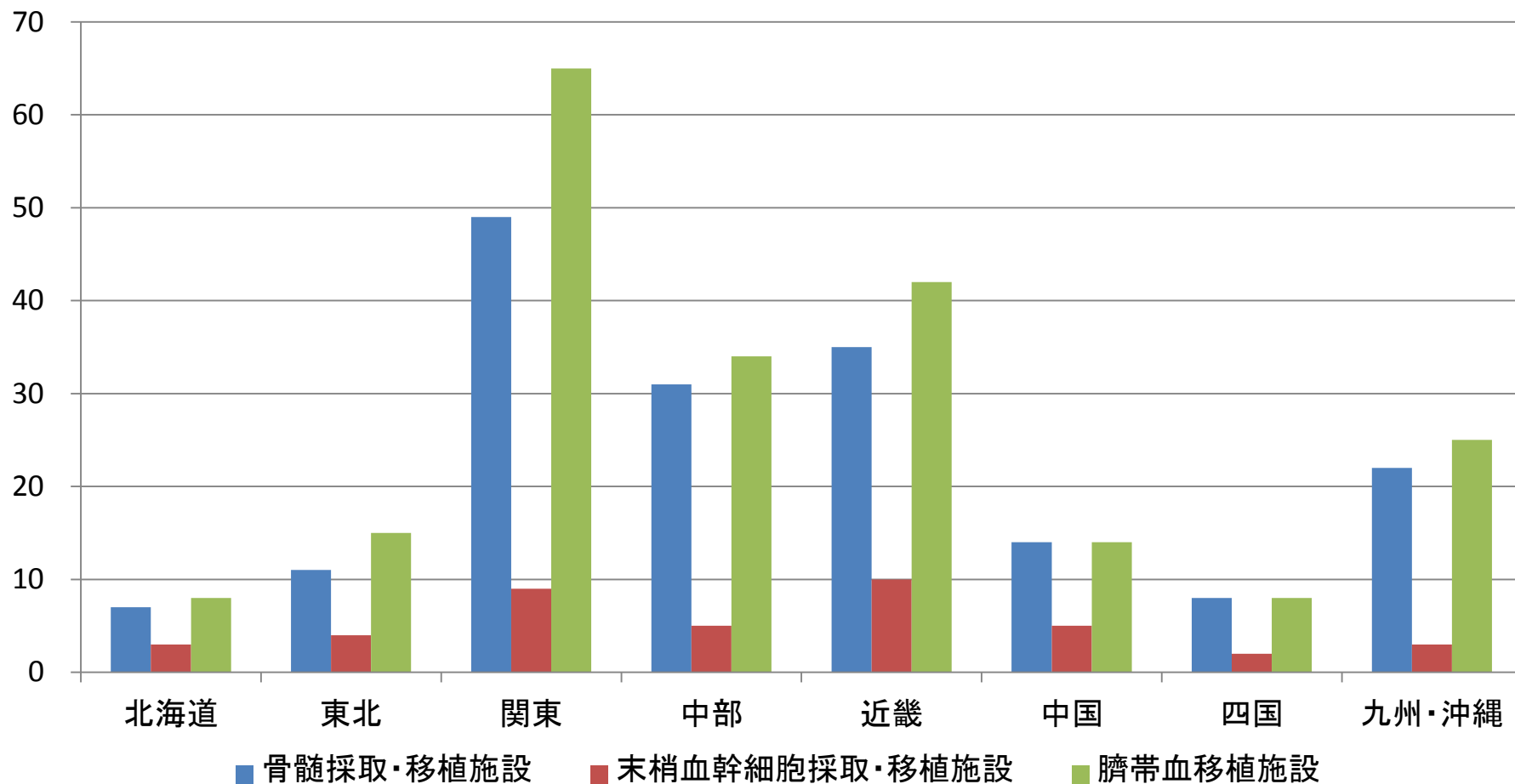


※ 2012年度は2013年2月13日現在

※ 日本さい帯血バンクネットワークのデータより臓器移植対策室にて作成

地方別非血縁者間造血幹細胞移植医療機関数

医療機関は関東、近畿、中部地方の順に多い。



(2012年12月17日現在)

(2012年12月17日現在)

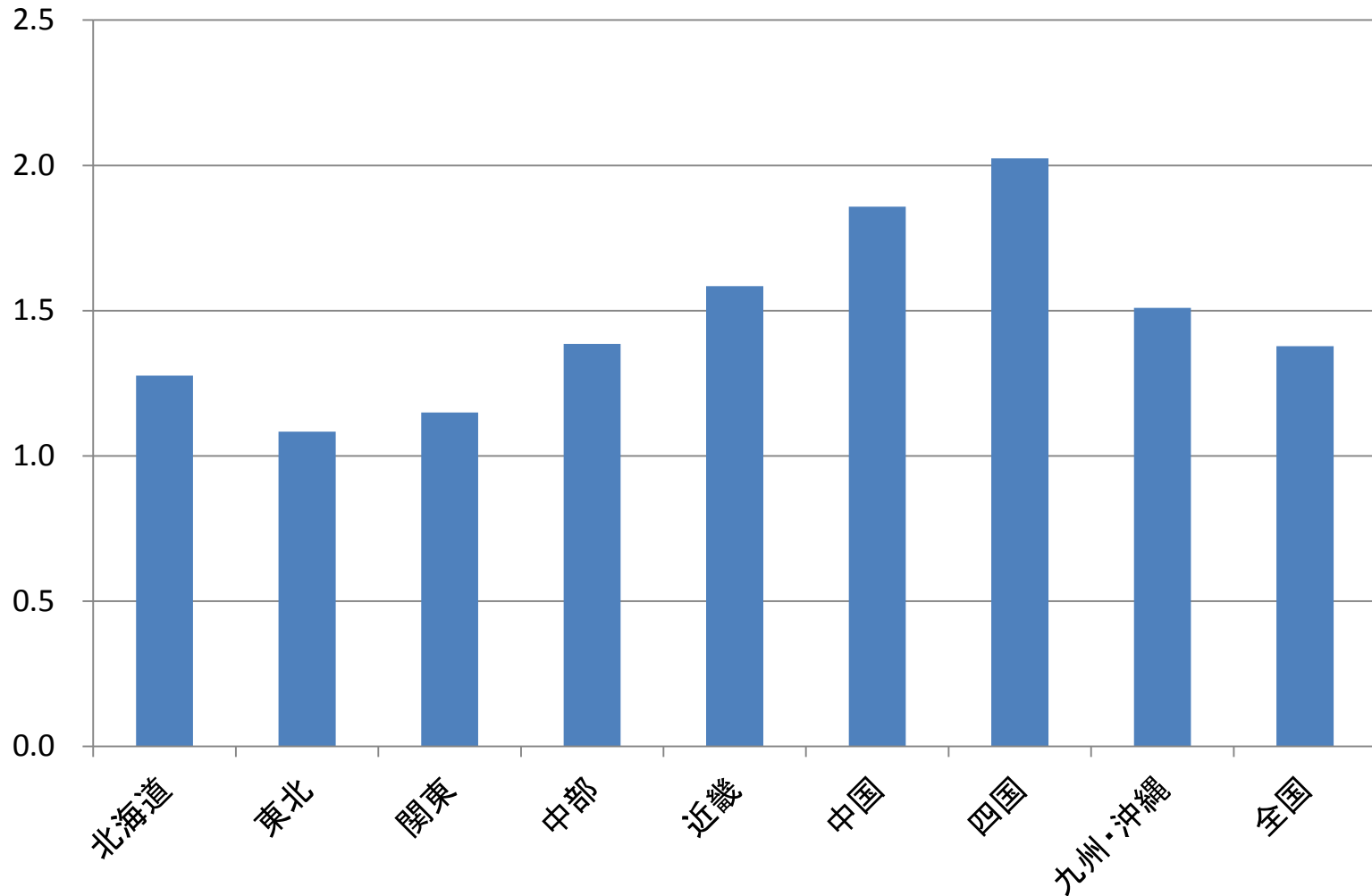
(2013年2月4日現在)

※ 骨髓採取のみの認定病院4病院、骨髓移植のみの認定病院5病院を含む

※ 骨髓移植推進財団、日本さい帯血バンクネットワークのデータより臓器移植対策室にて作成 4

人口百万人当たり地方別骨髄移植医療機関数

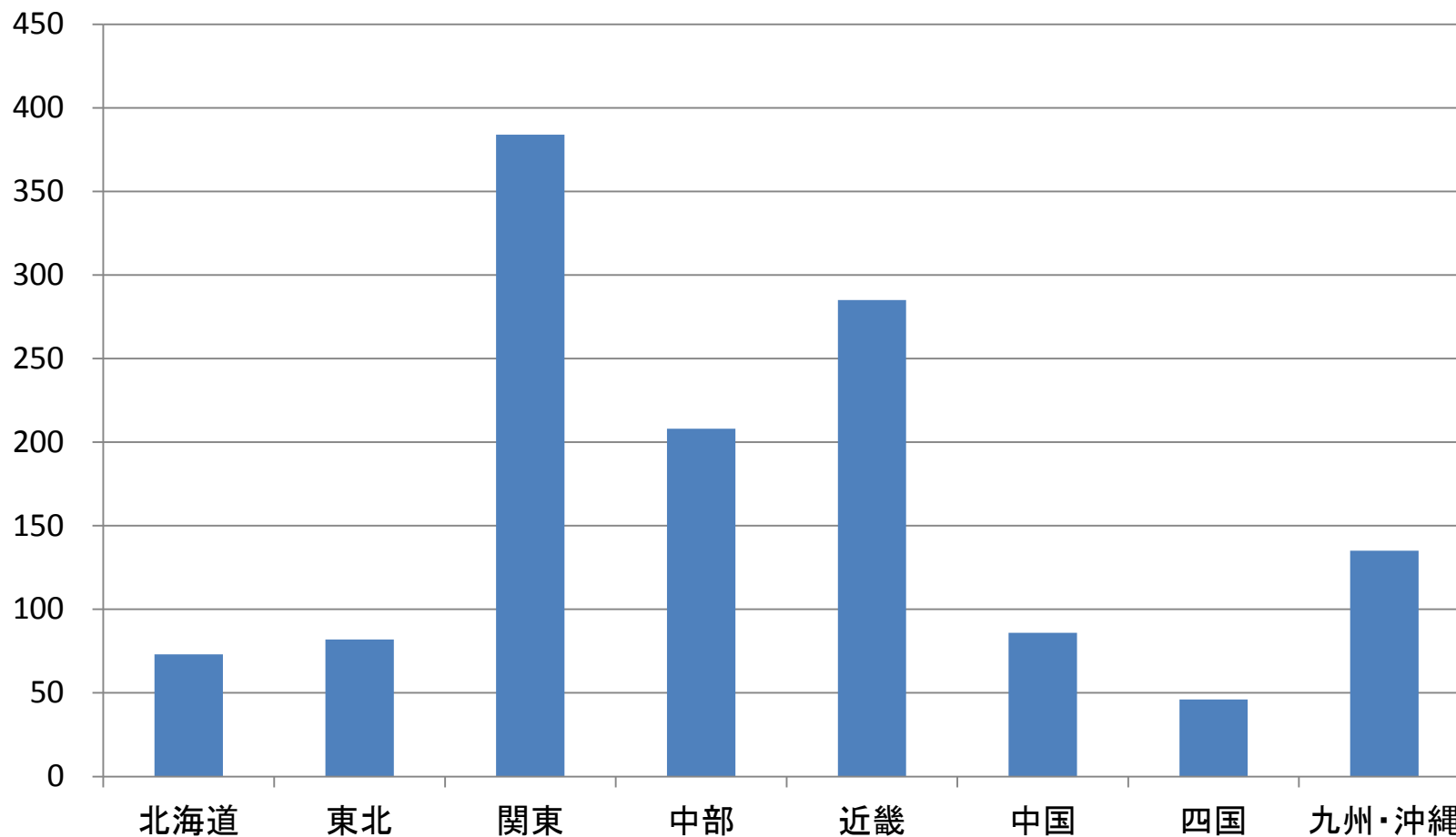
骨髄移植医療機関は人口当たりでは、それほど大きな差はない。



- ※ 骨髄採取のみの認定病院4病院、骨髄移植のみの認定病院5病院を含む
- ※ 人口は総務省人口推計のデータ(2011年10月1日現在)
- ※ 骨髄移植推進財団のデータより臓器移植対策室にて作成

地方別 造血幹細胞移植に関わる専門医師数

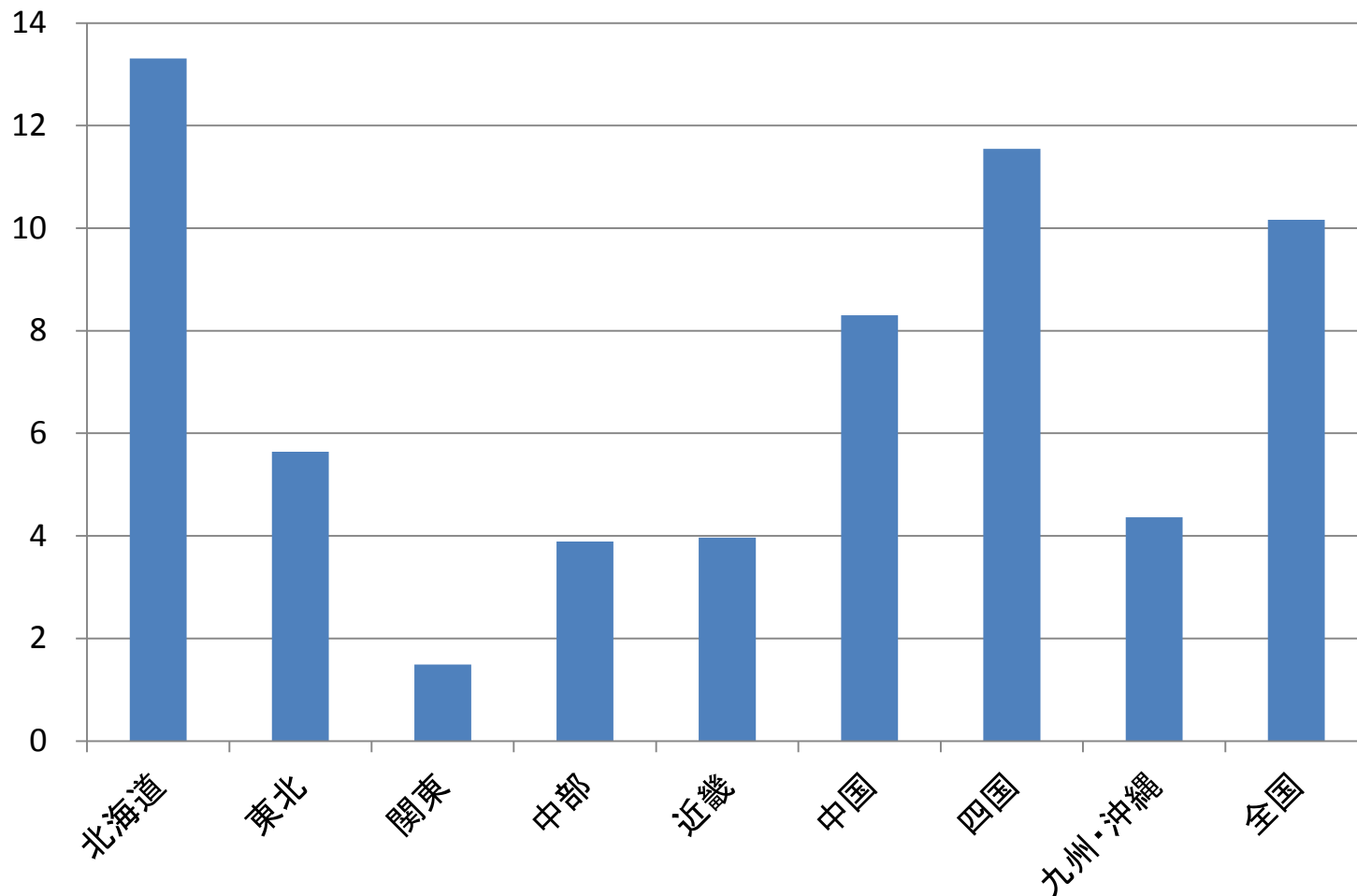
移植に関わる専門医師の数は関東、近畿、中部地方が多い。



※ 2013年1月末現在
※ 医師以外の医療スタッフについては利用可能なデータなし
※ 骨髄移植推進財団のデータより臓器移植対策室にて作成

人口百万人当たり・地方別 造血幹細胞移植に関わる専門医師数

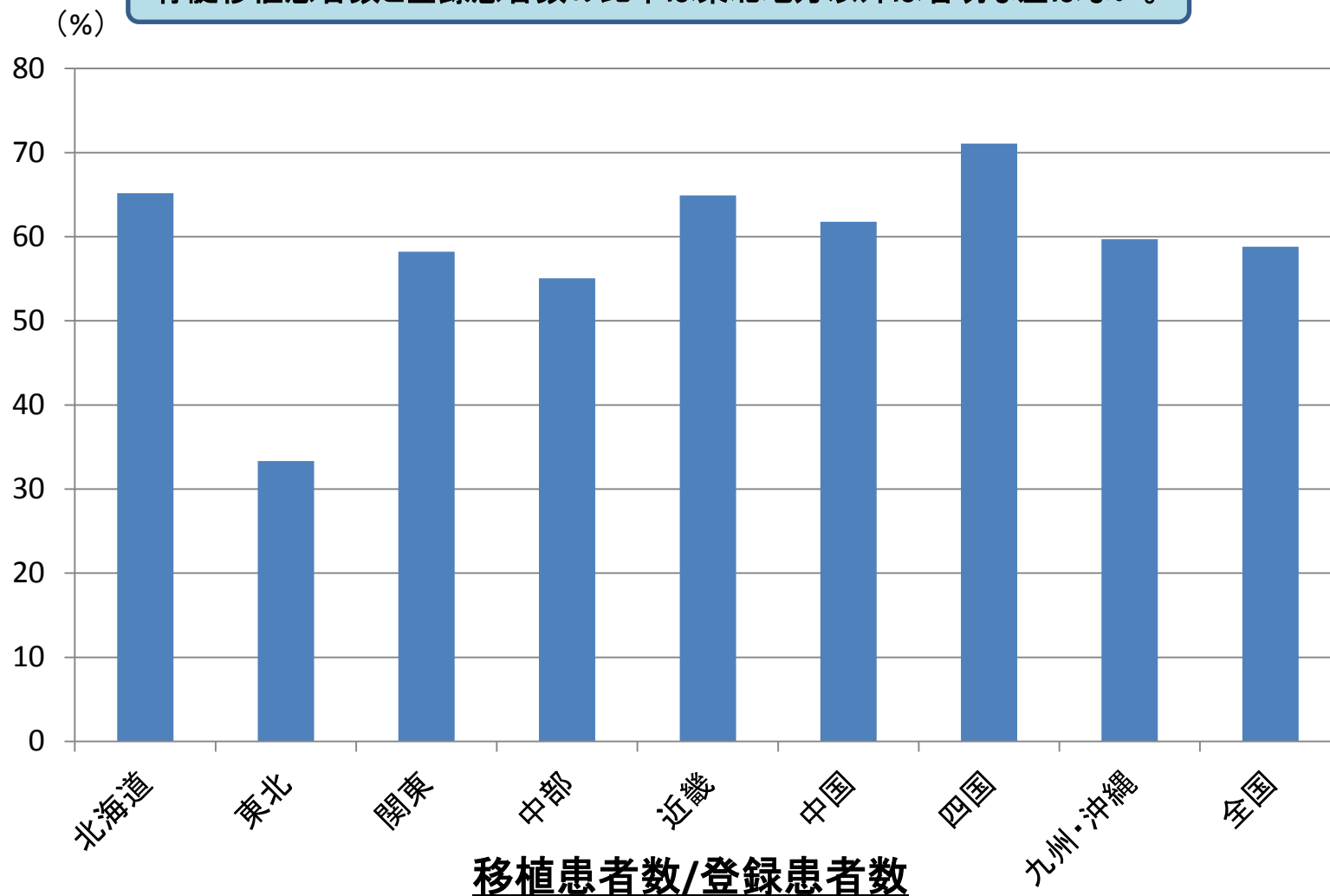
人口当たりの移植に関わる専門医師の数は10倍近い差がある。



- ※ 2013年1月末現在
- ※ 医師以外の医療スタッフについては利用可能なデータなし
- ※ 人口は総務省人口推計のデータ(2011年10月1日現在)
- ※ 骨髄移植推進財団のデータより臓器移植対策室にて作成

地方別登録患者数と骨髄移植患者数

骨髄移植患者数と登録患者数の比率は東北地方以外は著明な差はない。

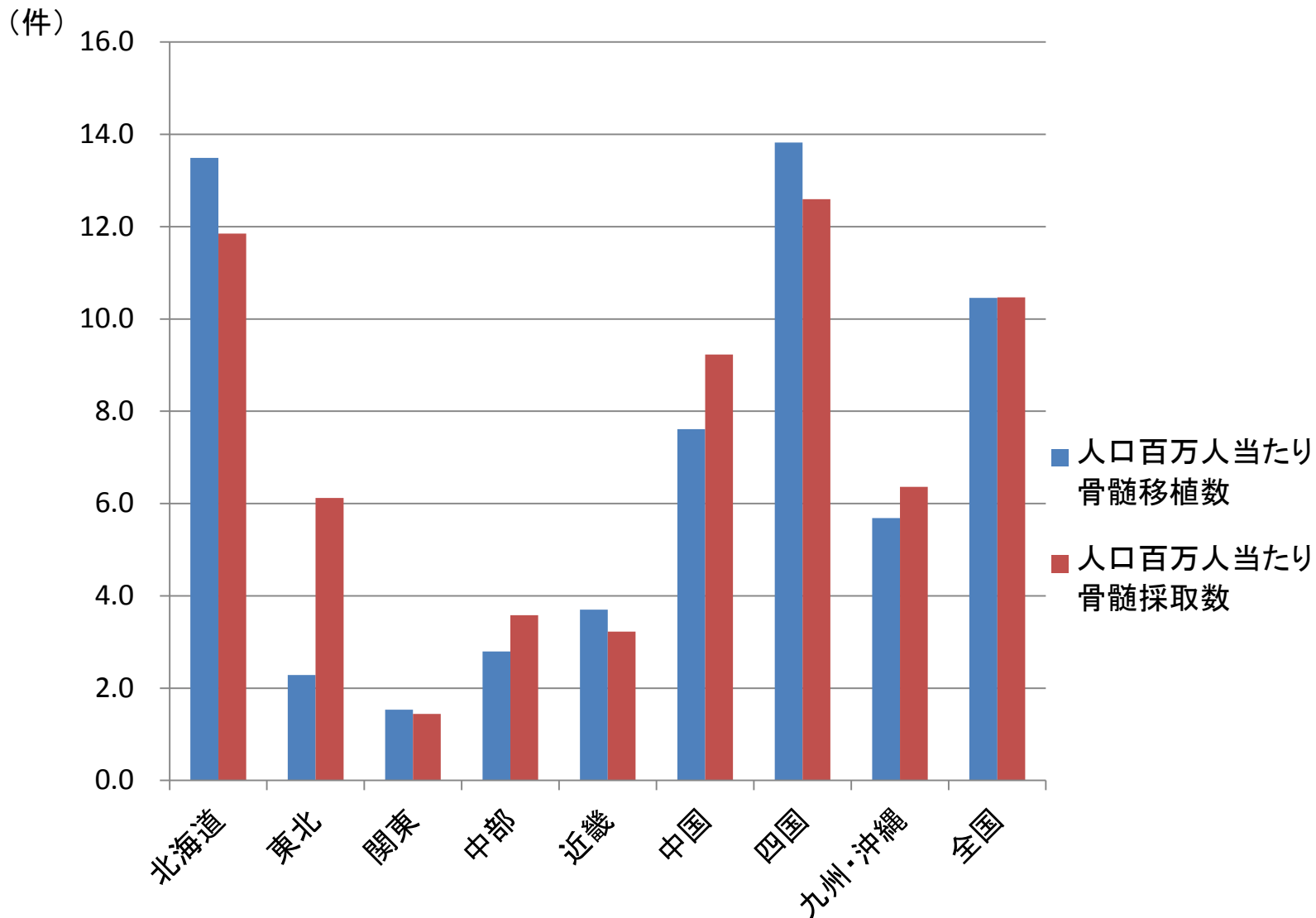


- ※ 登録患者数は2012年1月から12月に登録された患者数
- ※ 移植患者数は2012年1月から12月に骨髄移植された患者数
- ※ 登録患者数は登録患者の地方は患者住所により分類
- ※ 移植患者数の地方は移植施設住所により分類
- ※ 骨髄移植推進財団のデータより臓器移植対策室にて作成

人口百万人当たり地方別非血縁者間骨髄採取・骨髄移植件数

(2012年1月～12月)

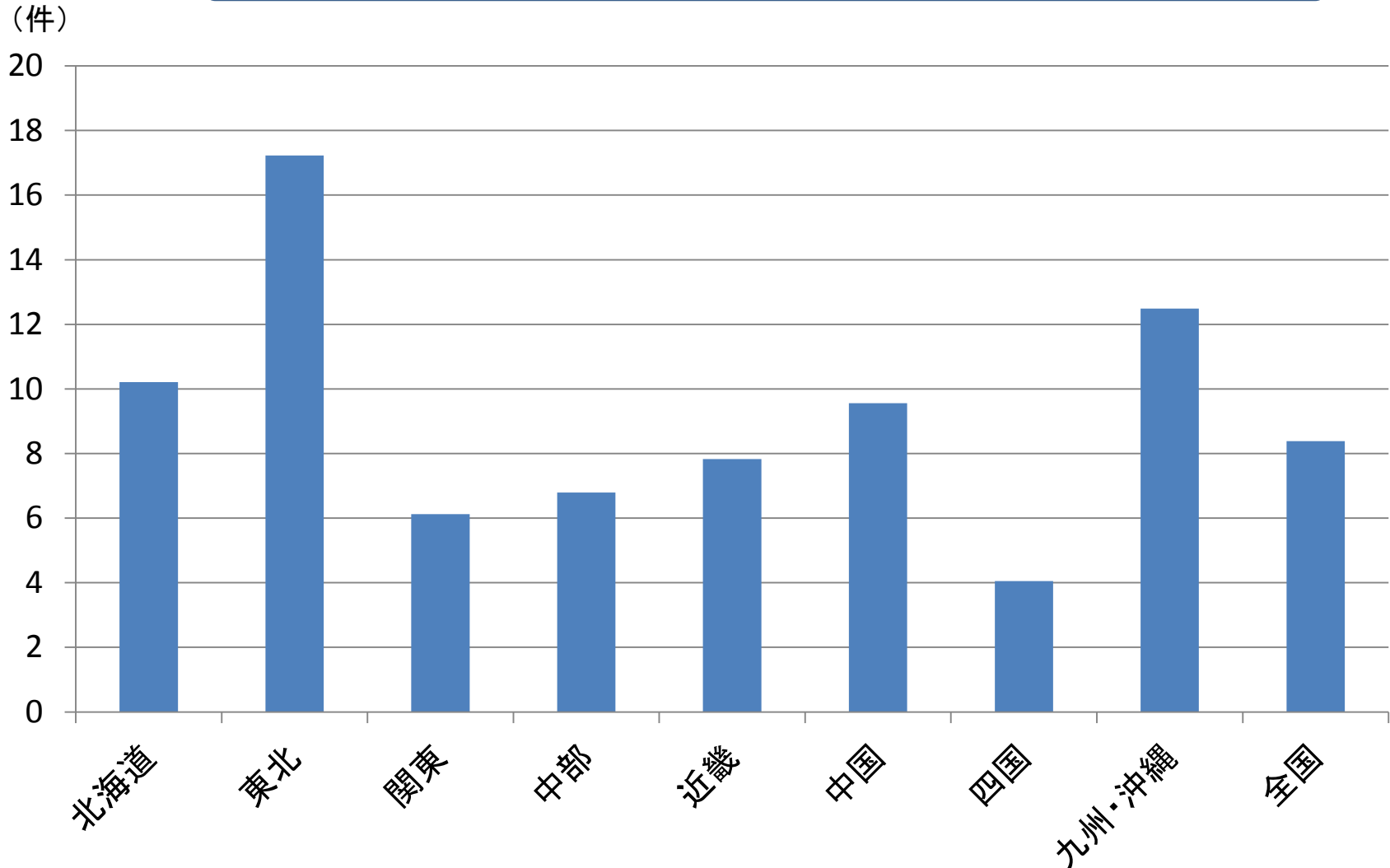
採取・移植件数差は、北海道・四国地方では移植数の方が多く、東北・中国地方では採取が多いという傾向がある。



人口百万人当たり地方別非血縁者間臍帯血移植件数

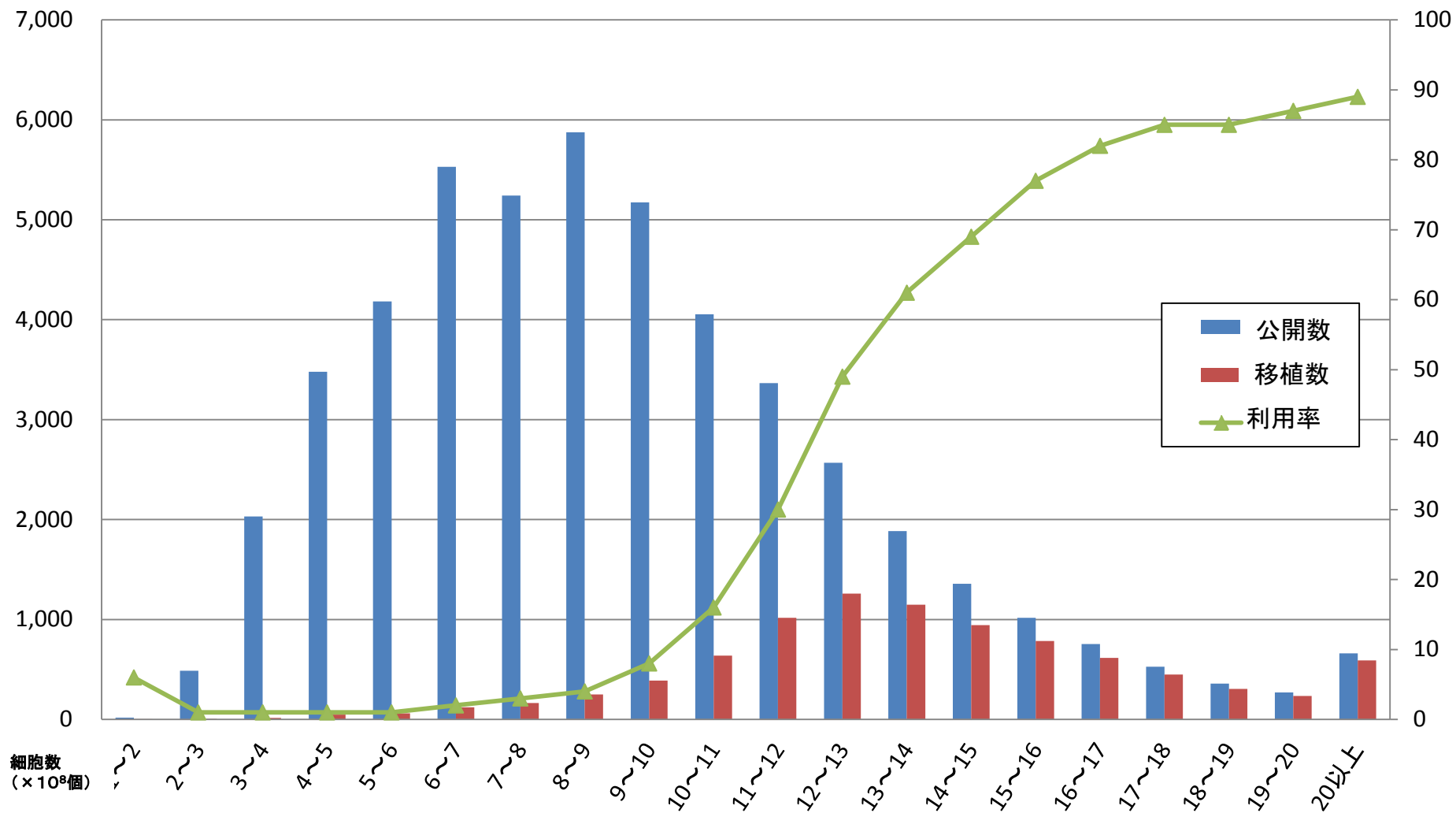
(2012年1月～12月)

人口当たりの臍帯血移植件数は東北、北海道、九州・沖縄地方が多い。



公開済み臍帯血、移植臍帯血の総細胞分布と利用率

総細胞数の多い臍帯血ほど、利用率が高くなっている。



※ 平成25年1月22日現在

※ 出典：日本さい帯血バンクネットワーク